

あいなんちょう いせき 愛南町の遺跡 - 2 -

平成29年9月

愛南町教育委員会

ひらじょうかいづか しゅつど ど き 平城貝塚から出土した土器について

ひらじょうかいづか しゅつど じょうもんどき どうしょ ひらじょうしき よ
平城貝塚から出土した縄文土器は、当初は「平城式」と呼ばれていました。せいぶつ
しんしゅ はっけん おな あた
新種の発見と同じで、新しく発見された種類の土器は、それが発見された遺跡のなまえ
けられるのがかんじゅう
慣習となっています。

その後、しょうわ
昭和57（1982）年の『えひめけんし げんし こだいⅠ』において、ひらじょうⅠしき
「平城Ⅱ式」・ひらじょうⅢしき
「平城Ⅲ式」の3種類に分けられました。しかし、「平城Ⅰ式」と「平城Ⅱ式」
については、現在においても未だ、その年代や文化的背景がはっきりしていないのは、「愛
南町の遺跡 - 1 -」で触れたとおりです。



平城Ⅰ式の特長の一つ目として、平城
貝塚から出土した土器の中で、もつとも
最も大きなようりょう
容量をもつことがあ
げられます。

こうちけんなんこくし しょざい たむらいせきぐん
高知県南国市に所在する田村遺跡群か
ら出土した平城Ⅰ式土器も大ぶりなもの
です。

平城Ⅰ式には、大きな容量をもつ個体
があつたかのうせい
可能性が考えられます。

平城Ⅰ式の特長の一つ目として、器の
口から下の部分に、きわだ すりけしじょうもん
際立った磨消縄文を
もつことがあげられます。

この模様の名前についてとういつ
統一されたもの
はまだありませんが、なみ きしぎわ た
波が岸際で立つ
て崩れる瞬間、そして崩れて海に戻り、
再び波立っていくように見えますので、
なみがしらじょうもん
「波頭状文」と呼ぶこととします。





平城Ⅱ式

平城公民館
展示品

特徴の二つ目として、器の形そして模様
様が、口の部分と首の部分そして胴の部
分に明確に分かれていることが挙げられ
ます。

これに対して平城Ⅰ式では、口の部分
からその下において、器の形そして「波
頭状文」は、平城Ⅱ式のように明確に分
かれていません。

以上のことから、平城Ⅰ式と平城Ⅱ式には、器の形と模様において大きな異なりがある
ことがお分かりいただけたことと思います。

この異なりについては、年代と文化的背景に異なりがあることが想定できます。では、
年代の異なり方について、平城Ⅰ式から平城Ⅱ式へと移り変わるのか、それともその逆な
のか。また、文化的背景の違いについては、平城Ⅰ式と平城Ⅱ式それぞれが、どのような
土器文化を背景にして生まれたのか。

未だ明確な考え方をお示しできる段階ではないのですが、このようなパンフレットの作
成や、今春、町内に戻ってきた平城貝塚の出土物の整理と活用を進める中で、紐解いてい
きたいと考えています。次号は、平城貝塚自体の魅力についてお伝えします。

次に平城Ⅱ式の説明になります。左の
土器の写真、そして下の土器の写真をご
覧ください。

平城Ⅱ式の特徴の一つ目として、器の
口の外面に、際立った模様をもつことが
挙げられます。また、模様にも異なりが
あり、それぞれ個性があることがお分り
いただけると思います。



平城Ⅱ式

平城公民館
展示品

文化財の保護にご理解とご協力をお願いします！

文化財は、壊されてしまうと元に戻すのが極めて難しいものです。特に、遺跡と
して知られるものは、地面の下にあるために、地上でその存在を知ることは困難です。
…遺跡に関するお問い合わせは、生涯学習課（電話0895-73-1112）まで。